



一般社団法人 福岡県建築士事務所協会

TEL:092-473-7673 FAX:092-473-7278

http://www.f-aa.jp E-mail : info@f-aa.jp

目次 -Contents-

- 1 福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 2
建築設計競技 結果報告
- 2 会議のご報告 8
- 3 表彰関連11
- 4 訃 報11
- 5 各支部・地域会よりお知らせ12
- 6 会 員 動 静22
- 7 役員さんの徒然雑記23

1

福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告

平成29年度 福岡県内の高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技が開催されました。
 今年は高等学校の部4校より計57点、専門学校部の部4校より計93点のご応募を頂き、審査会にて選ばれた知事賞、他入賞者の表彰式が11月13日にANAクラウンプラザホテル福岡にて行われました。
 また11月13日はANAクラウンプラザホテル福岡2Fロビーにて、11月14日～17日は福岡市役所1階市民ロビーにおいて作品の展示会が開催されました。

経 過

平成29年 5月13日 関係校へ課題を通知、応募期限を9月29日とする
 9月29日 提出校、高等学校の部4校57点、専門学校部の部4校93点
 10月13日 福岡建設会館において、13時30分より審査会を行い各賞決定
 11月13日 ANAクラウンプラザホテル福岡において表彰式開催
 11月13日 ANAクラウンプラザホテル福岡2階ロビーにおいて作品展示会開催
 11月14日～11月17日 福岡市役所1階市民ロビーにおいて作品展示会開催

審査委員名

- 鮎川透(株) 環・設計工房 取締役会長、九州大学芸術工学部非常勤講師、福岡大学工学部非常勤講師
- 福岡県建築都市部長 ● 福岡県教育長 ● 北九州市建築都市局長 ● 福岡市住宅都市局長
- (一財)福岡県建築住宅センター理事長 ● (公社)福岡県建築士会会長 ● (公社)日本建築家協会九州支部長
- (一社)福岡県建築士事務所協会会長

協 賛

- (一財)福岡県建築住宅センター

後 援

- 福岡県 ● 福岡県教育委員会 ● 北九州市 ● 福岡市
- (公社)福岡県建築士会 ● (公社)日本建築家協会九州支部

参加者の皆さまへの御礼

本年度の課題は、福岡都市圏での宿泊施設不足が深刻な問題となっていることに目を向け、高等学校の部が「民泊を想定したゲストルームを持つ戸建て住宅」、専門学校部の部が「まちなかに建つ簡易宿泊所」と課題を設定いたしました。

特に高校生にとっては、地域の選定から民泊について理解しなければならないというハードルの高い難しい課題だったと思われませんが、高等学校の部、専門学校部の部とも昨年度より応募数が増加し、生徒、学生諸君が社会問題に関心を持ち、取り組んでいただいたことに喜びを感じました。

今回の作品の多くは、多くの時間を費やし、地域の歴史、文化に目を向け、考え抜かれた独創性に富んだ力作が多く見受けられ、審査委員の皆様も若者の想像力の豊かさに驚かされていました。

夢と希望に溢れる素晴らしい作品と出会い、審査できましたことを、生徒、学生諸君並びにご指導いただいた先生方に感謝申し上げます。

最後に公私ともご多忙の中、課題、講評の作成及び審査いただきました鮎川審査委員長並びに審査いただきました関係諸庁、各団体の方々のご協力に心より御礼申し上げます。

一般社団法人 福岡県建築士事務所協会 教育・研修委員会
委員長 田中 浩

平成29年度 建築設計競技 高等学校の部

平成29年度 課題

『民泊を想定したゲストルームを持つ戸建て住宅』

計画趣旨

政府が「観光立国日本」のスローガンを掲げて様々な施策を進めてきた効果もあり、近年海外からの観光客の増加は目を見張るモノがあります。特に福岡都市圏ではインバウンドの増加に加えて、コンサートやコンベンション等のイベントに連動した宿泊客も増加して宿泊施設不足が、社会問題化しています。既存の旅館やホテルの部屋不足に対応していくつかの新築計画も進められていますが、それとともに規制緩和により民泊や簡易宿泊所の増設を誘導しています。その様な社会的背景を踏まえ、名所旧跡観光（秋月や八女福島等）に加えて都市観光（福岡市や北九州市等）も視野に入れて、具体的な場所を選定して民泊を想定したゲストルームを持つ戸建て住宅を計画して下さい。敷地条件や規模は下記の様に定めますが、求められている機能等をよく理解して、それ以外は皆さんの自由な発想を期待します。

計画条件

- 1) 敷地
 - 面積……210㎡（間口14M×奥行き15M）
 - 用途地域……第一種住居（60/200）
 - 接道条件……前面道路W=6m
 - その他……上下水道完備、給電は前面道路から、前面道路と敷地の高低差なし、駐車スペース（管理用+α）
- 2) 建物
 - 用途……住宅
 - 面積……建築面積及び延べ床面積は定めない
 - 構造……木造2階建て 最高高さ13m
 - 留意点……家族構成を想定して所要室を決めること
コンセプトを明確にすること。その他の法規は適用しない。
- 3) 提出図面
 - 用紙……当協会配布のケント紙（B2サイズ）一枚を使用し、横書きとする。
 - 提出内容……
 - ・ 課題にふさわしいタイトルを付けるとともに設計コンセプトを明確に表現すること。
 - ・ 配置図（1/300）
 - ・ 平面図（1/100）
 - ・ 立面図（1/100）
 - ・ 断面図（1/100）
 - ・ 外観パース（通り側から見たアングル等コンセプトが分かるよう）
 - 条件……必ず手書きとする。CGは不可、模型写真の添付や着色は自由。
図面には必ず面積表・方位・縮尺・寸法及び寸法引き出し線、室名を正しく記入すること。

応募校と 応募数

有明工業高等専門学校（1年～3年）	作品数	35点
浮羽工業高等学校	"	7点
博多工業高等学校	"	5点
福岡工業高等学校	"	10点
計 4校		57点

個人賞

● 知事賞	福岡工業高等学校	3年	俵坂 晏花
● 福岡県教育委員会賞	福岡工業高等学校	3年	古賀 智帆
● (一財)福岡県建築住宅センター理事長賞	浮羽工業高等学校	3年	江藤 華乃
● 会長賞	浮羽工業高等学校	3年	馬場 洸気
● (公社)福岡県建築士会会長賞	浮羽工業高等学校	3年	四ヶ所京介
● (公社)日本建築家協会九州支部支部長賞	福岡工業高等学校	3年	三笥 裕
● 優秀賞	浮羽工業高等学校	3年	栗木 賢人
● "	浮羽工業高等学校	3年	小林 基史
● 佳作	福岡工業高等学校	3年	後藤 華琳
● "	福岡工業高等学校	3年	篠原瑠美佳
● "	福岡工業高等学校	3年	水室ひなた
● 奨励賞	浮羽工業高等学校	3年	池尻 将宗
● "	博多工業高等学校	3年	内田 大成
● "	有明工業高等専門学校	3年	石川 佳奈
● "	有明工業高等専門学校	3年	國生 有未（敬称略/順不同）

団体賞

福岡工業高等学校

平成29年度 課題 『まちなかに建つ簡易宿泊所』

計画趣旨

政府が「観光立国日本」のスローガンを掲げて様々な施策を進めてきた効果もあり、近年海外からの観光客の増加は目を見張るモノがあります。特に福岡都市圏ではインバウンドの増加に加えて、コンサートやコンベンション等のイベントに連動した宿泊客も増加して、宿泊施設不足が社会問題化しています。既存の旅館やホテルの部屋不足に対応していくつかの新築計画も進められています。それとともに規制緩和により民泊や簡易宿泊所の増設を誘導しています。その様な社会的背景を踏まえ、名所旧跡観光（秋月や八女福島等）に加えて都市観光（福岡市や北九州市等）も視野に入れて、その様な観光の拠点となるまちなかに具体的な場所を想定して簡易宿泊所を計画して下さい。それは既存の旅館やホテルより気軽に安価で利用出来る上、開業のハードルが低いので近年新しい小規模宿泊施設のスタイルとして注目を集めています。敷地条件や規模は下記のように定めませんが、求められている機能等をよく理解して、それ以外は皆さんの自由な発想を期待します。

計画条件

- 1) 敷地
 - 面積………360㎡（間口18M×奥行20M）
 - 用途地域………商業地域（80/400）
 - 接道条件………前面道路W=8m
 - その他………上下水道完備、給電は前面道路から、前面道路と敷地の高低差なし、外構・駐車スペース（管理用+α）庭や植栽
- 2) 建物
 - 用途………簡易宿泊所
 - 面積………建築面積及び延べ床面積は定めない
 - 構造………自由（階数等により想定すること）
 - 留意点………定員（宿泊室：S/TWや階層式寝台の共同寝室を適宜配置）共同のロビー・談話室・食事室・浴室等を設ける。宿泊室は窓がなくても良い。コンセプトを明確に設定すること。その他法規制は適用しない。
- 3) 提出図面
 - 用紙………当協会配布のケント紙（B2サイズ）1枚を使用し、横書きとする。
 - 提出内容………・課題にふさわしいタイトルを付けるとともに設計コンセプトを明確に表記すること。
 ・配置図（1/300）・平面図（1/100）・立面図（1/100）・断面図（1/100）
 ・外観パース（通り側から見たアングル等コンセプトが分かるよう）
 - 条件………CGは可、模型写真の添付や着色は自由。
 図面には必ず面積表・方位・縮尺・寸法及び寸法引き出し線、室名を正しく記入すること。

応募校と
応募数

麻生建築&デザイン専門学校	作品数	51点
九州職業能力開発大学校	"	13点
福岡建設専門学校	"	17点
福岡デザイン専門学校	"	12点
計 5校		93点

個人賞

● 知事賞	福岡建設専門学校	2年	大石 純
● 福岡県教育委員会賞	福岡デザイン専門学校	2年	内山 直紀
● (一財)福岡県建築住宅センター理事長賞			
● 会長賞	福岡デザイン専門学校	2年	伊藤 厚
● (公社)福岡県建築士会会長賞	福岡デザイン専門学校	2年	佐藤 志織
● (公社)日本建築家協会九州支部支部長賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	納富 光
● 優秀賞	福岡デザイン専門学校	3年	小川 澄華
● "	麻生建築&デザイン専門学校	1年	榎本 景太
● "	麻生建築&デザイン専門学校	2年	佐本 藍子
● "	福岡デザイン専門学校	3年	伴 沙耶香
● 佳作	福岡建設専門学校	2年	加藤麻衣子
● "	麻生建築&デザイン専門学校	1年	古賀 智子
● "	麻生建築&デザイン専門学校	1年	小柳 璃紗
● 奨励賞	九州職業能力開発大学校	2年	鮎川 奈生
● "	麻生建築&デザイン専門学校	1年	黒川菜津美
● "	麻生建築&デザイン専門学校	2年	一関 麻未
● "	麻生建築&デザイン専門学校	2年	田邊 聡（敬称略/順不同）

団体賞

福岡デザイン専門学校

■ 高等学校の部 課題

民泊を想定したゲストルームを持つ戸建て住宅

■ 専門学校の部 課題

まちなかに建つ簡易宿泊所

今年の課題は、高等学校の部はゲストルームを持った住宅、専門学校の部は簡易宿泊所という宿泊施設、その立地は観光地をひかえているという条件にした。そのためか、敷地設定に各自の思いや愛着が込められているのが感じ取れる作品が多く見られた。地域固有の素材や形態あるいは祭りなどの伝統に注目してそれらを背景として組み立てた、課題の問いに正面から答えた作品が多く見られた。いわゆる観光地から福岡市中洲という歓楽街など、その立地の選択にも多様性が見られたのは思考の幅広さを感じられた。そこで、選んだ観光地の特性をしっかりと分析し咀嚼することを経て建築デザインに昇華することが求められるのだ。知事賞をはじめ上位の受賞作品は、そのようなステップを着実にこなし地に足がついた秀作に仕上げられている。敷地やテーマの設定を踏まえて、それからスムーズに読み取れる計画案にまとめられていると言ってもいいだろう。しかし一方で形態や工法(今回は少なかった)のワンコンセプトでまとめるという案も見られる。どちらからアプローチしてもいいが最終的には機能や形態などを踏まえた総合性、建築としてのありようを計画し表現することを求めている。

今年も多くの作品が集まったが、学校により応募数のばらつきが見られたのはご指導いただいている先生がたが予め校内で評価をした上でのご応募かと推測されます。そのような過程も含みご指導いただいている先生がたに厚く御礼申し上げます。

高等学校の部 総評

地特性をどのように計画に反映するかということ。それと居住者家族とゲストの生活空間をどのように分けるのか、どの部分を共有し交流を図るのかという切り口が、計画案の方向性を大きく左右した。また単体の建築だけでなく、まちなみなどを意識表現した案も見られ評価された。手書きとしているため一発勝負の難しさは感じられるが、画面レイアウトや着彩等プレゼンテーションに力を感じられる案も見られた。その点ではワープロ文字の出力シート貼り込みと手書きレタリングの両方があったことは今後の検討課題としたい。

専門学校の部 総評

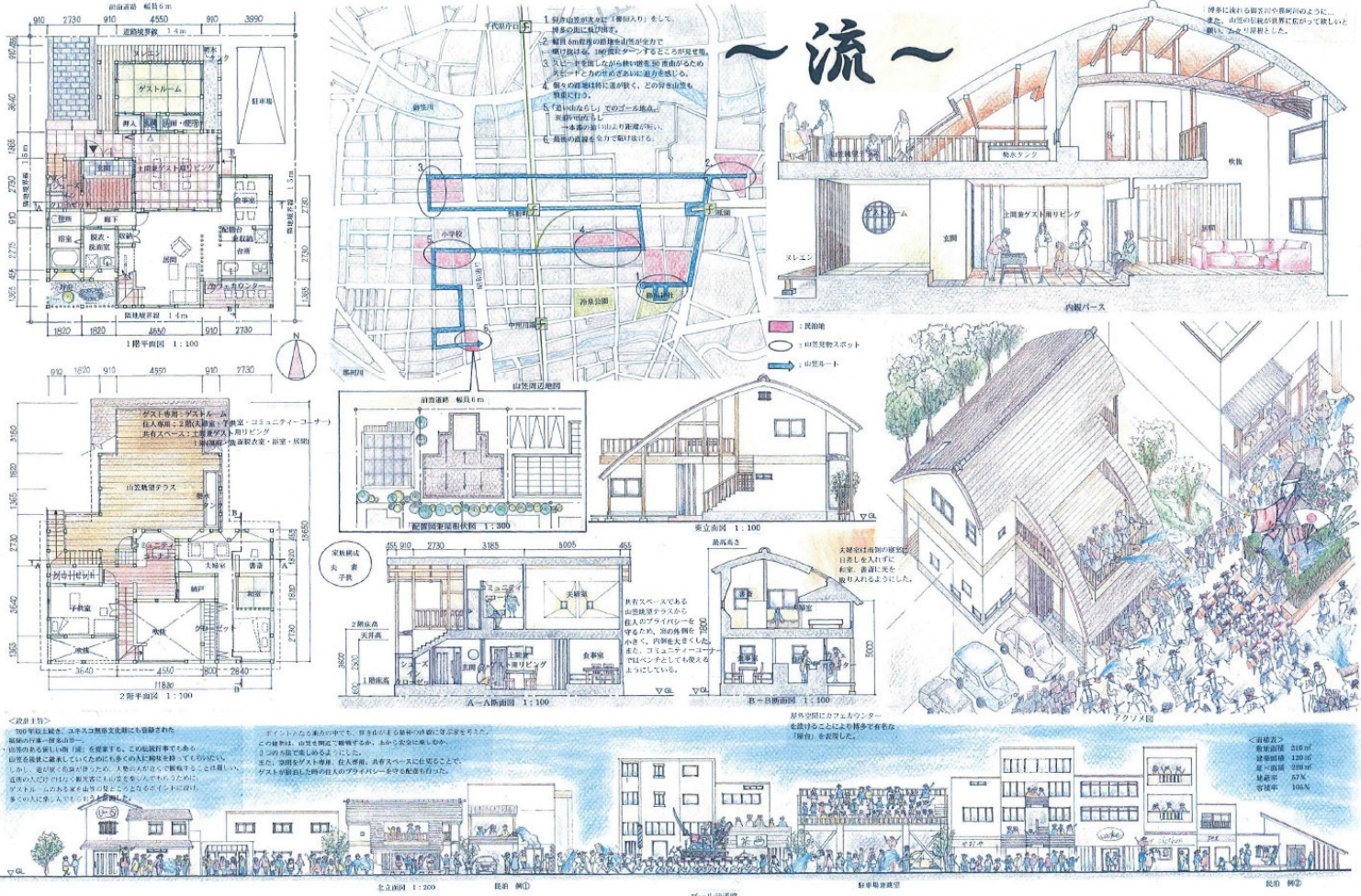
力作が多く、審査に嬉しい苦勞を感じた。さすがにこの部になると地域の歴史や特性などをそのまま形態に置き換えるのではなく、一度読み替えるというステップを踏んでいる力作が多く見られた。それに加え、プレゼンテーションの力量は年を追うごとにアップしているのは、先生がたのご指導のたまものであると思われる。今回の課題は、地域・場所との関係が肝であるとともに、宿泊空間の外に対しての閉鎖性と地域に開く開放性とを、どのように建築としてデザインするかがポイントとして評価された。

受賞作品紹介

— 高等学校の部 —

知事賞

福岡工業高等学校 3年 俵坂 晏花



講評

敷地を伝統ある祭りの山笠の回止め(終点)近くに設定。通りとそこで行われる祭りとの関係を切り口に、山笠展望テラスを設けながら、緩く居住者家族の生活空間を分けている。まちなみの立面など安心してみられる精緻な書き込みが、作者の力量を感じさせる秀作である。



受賞者コメント

私は、この設計競技に参加するにあたり知事賞をとることを目標に作品を創り上げました。前年度も知事賞を受賞したため、昨年の自分を超える作品を創らなければならないというプレッシャーを感じていました。

結果を聞いたときは前回より達成感が大きく、非常に嬉しく思いました。この経験を糧に日々成長していこうと考えています。

福岡工業高等学校 建築科3年 俵坂 晏花

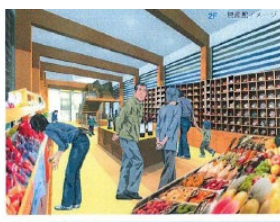
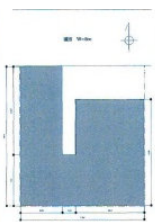
受賞作品紹介

— 専門学校の部 —

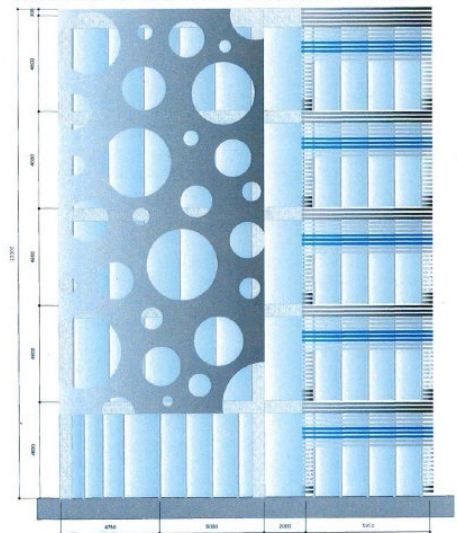
知事賞

福岡建設専門学校

2年 大石 純

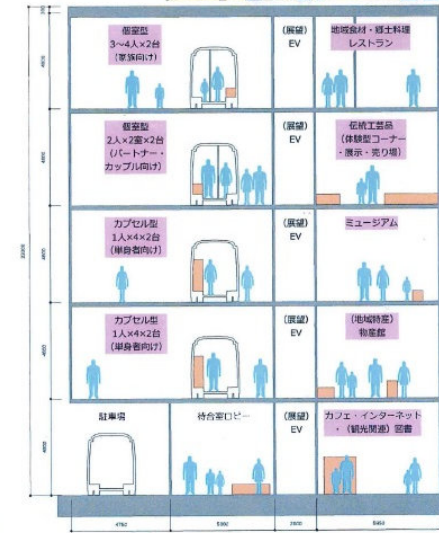
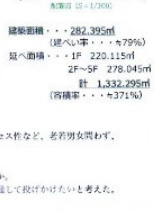


古くから交易の要所として開かれ、発展を遂げた福岡県は今なお進化を続ける。町脈を担う近代都市を軸として、近郊に広がる豊かな自然、豊かな食・芸術文化を軸にしたアクセシブルな、若者男女問わず、別所が各地にクラスと広がりつつある賑わいの地域として役割を果たす。海外においても目を惹かれる。福岡に目を向け、在る者にとっては何よりの誇りである。しかし、私たちはこの地をどれほど愛しているのだろうか。一面のみを眺めて満足してしまっていないだろうか。そんな疑問を、県内各地にまで張り巡らされた交通網で人が行き交って行く「バス」という身近な存在を通して投げかけたいと考えた。通るのを思い、訪れる者の想像・行動圏を越えさせる。初めて、改めて、知るきっかけとなる場所。



立面図 (S=1/100)

外観は「ターミナルから今にも湧き出るバス」をイメージし、地域のシンボル的な存在となることを目指した。連続的なフォルムを持つバスはローラーにて構成し、シャープな角の外観は、路線バス車内で見かけたパンチングメタルをヒントに、子供から大人まで好まれるような丸みを帯びたフォルムを追求した。共に、ガラス張りな開放性を保持しつつも、外観で内部空間に透視できるような配慮。エレベーターは歩行者の動線と平行して設置し、通る人がガラスを通して見える人の賑わいやバスの存在、「あの建物は何だろう...」と通る人々の想像を掻き立てるような外観を目指した。



断面図 (S=1/100)

1F 1F 2F 3F 4F 5F

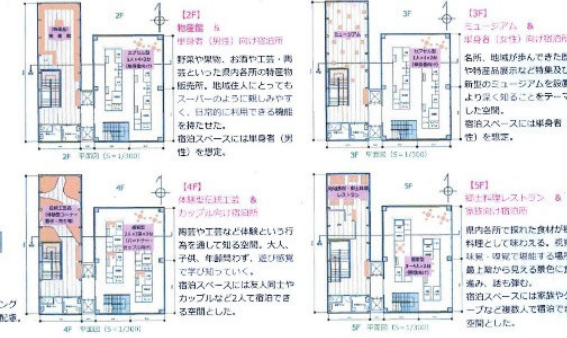
構造は建物形状の特色を踏まえ、本館門型フレームのフレーム構造（バス「ターミナル」棟）と、RC造（ターミナル「駅前」棟）を組み合わせ、開放感溢れる大空間とした。バス棟とターミナル棟をさくさく区別しつつも、行き来しやすく互いに連携的とならない空間を心がげた。バス棟は1F（待合室）→2F（ミュージアム）→4F（体験型スペース）→5F（レストラン）とターミナルに連続性を持たせ、空間が見渡せる階段を上層へと登るにつれ、人々の好奇心を刺激し、期待が膨らむものとした。ターミナル等はバス車内に宿泊機能を設け、バス愛好家だけでなく、子供からお年寄りまで若者男女問わず楽しめる遊び心を持たせ、層層から家族まで多様な人々構成に対応出来る宿泊スペースを設けた。



1F 平面図 (S=1/100)

1F カフェ・インターネット、ミュージアム、体験型スペース、待合室、バス発着場

建物の入口であり、地域と繋がり、交わるフロア。内と外に区切りを掛けつつも、互いに溶け込みやすい空間を心がけた。グルメ、歴史、特産品など市内の各所や地域に関するあらゆる情報を知ることが出来る。カフェ・ミュージアムとし、利用者に快適性を持たせるだけでなく、地域の人や通行人も気軽に立ち寄り、自分たちが好きなものを通して情報するよう工夫した。宿泊所としての建物内には受付やスタッフルームの他、観光バスの終着点として待合室ロビーを設けた。



講評

福岡を知ってもらうテーマ棟と宿泊棟の、機能や外観とともに構造形式も異なる意表を突いた二棟構成の明快な提案。上階に向けて、宿泊棟もテーマ棟もフロアの使い方を想定してそのソフトについてもしっかりと考えられている。提案者の構成量を示した秀作である。

受賞者コメント

自身、初めての受賞がこのような大変名誉ある賞で本当に嬉しく思います。今競技を通して、「設計」そのものの喜びを感じると共に、その場所その建物でしか成し得ないオリジナリティや地域から期待される役割を深く考えさせられ、難しさの先に存在する建築物の大きな可能性を感じました。今後もこの貴重な経験を活かし、更に深み感じる設計に取り組んでまいります。



福岡建設専門学校 2年 大石 純

2

会議のご報告

平成29年度 第8回常任理事会報告

日時 平成29年11月9日(木)15:00～17:00

会場 一般社団法人福岡県建築士事務所協会 事務局

出席者 会長、副会長、常任理事、事務長9名参加

議 題

1. 協議事項

- [1] 創立40周年記念事業について
- [2] 会員、準会員募集用チラシについて
- [3] 職員育児休業に伴うパート職員の採用について
- [4] 就業規則等の改定について
- [5] 福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技審査結果について
- [6] 平成28年熊本地震への対応について
- [7] 日事連からの各種依頼、アンケートについて
- [8] 退会会員の承認について

2. 報告事項

- [1] 女性部会見学会「大牟田 近代化産業遺産を巡る旅」報告
- [2] 指定事務所登録機関関係報告
- [3] 法定講習関係(建築士定期講習、管理建築士講習)実施計画、実施報告
- [4] 九州設計三団体懇談会開催報告
- [5] 九州・沖縄ブロック協議会第1回会長会議開催報告
- [6] その他

平成29年度 第9回常任理事会・第5回理事会報告

第9回 常任理事会

日時 平成29年12月12日(火)13:30～15:20 **会場** 一般社団法人福岡県建築士事務所協会 事務局

出席者 会長、副会長、常任理事、支部長、事務長13名参加

議 題

1. 協議事項

- [1]第5回理事会の進行、説明担当者、議題の確認
- [2]平成29年度中間決算報告
- [3]創立40周年記念事業について
- [4]平成30年度通常総会日程・会場について
- [5]平成30・31年度の役員候補者の推薦手順と選任方法について
- [6]熊本市木造住宅耐震診断破損に係る費用について
- [7]平成29年度福岡県知事指定講習「開設者・管理建築士等のための建築士事務所の管理研修会」開催について
- [8]既存住宅状況調査技術者講習開催について
- [9]「告示第15号見直しに係る実態調査」にご協力いただける建築士事務所の推薦のお願いについて
- [10]改正建築士法の周知活動について(協力依頼)
- [11]日事連広報・渉外委員・平成30年度共同要望項目に関する意見提出について
- [12]平成29年度建築士事務所政経フォーラム会費納入について
- [13]平成29年度九州・沖縄ブロック協議会第2回会長会議開催について
- [14]業界紙からの新春特集号広告協賛のお願いについて
- [15]関係団体平成30年賀詞交歓会への参加者について
- [16]職員冬期賞与の支払いについて
- [17]事務局、登録センター冬期休暇について
- [18]高巢光男副会長平成30年秋の叙勲受章祝賀会開催について
- [19]その他

第5回 理事会

日時 平成29年12月12日(火)15:30~17:00 会場 福岡建設会館7階702会議室

理事会構成者数及び出席者数 理事会構成者数 19名 / 出席者数 13名

議題

1. 審議事項

- [1]新入会員の承認、退会会員の報告(理事会決議事項)
- [2]就業規則等の改定について

2. 協議事項

- [1]平成29年度上半期決算報告
- [2]創立40周年記念事業について
- [3]平成30・31年度の役員候補者の推薦手順と選任方法について
- [4]平成30年秋の叙勲候補者及び褒章候補者の推薦について
- [5]平成30年建設事業関係功労者表彰候補者の推薦について
- [6]会員、準会員募集用チラシについて

3. 報告事項

県本部関係報告

- [1]九州設計三団体懇談会開催報告
- [2]平成28年熊本地震への対応について
- [3]女性部会研修会「大牟田近代化産業遺産を巡る旅」開催報告
- [4]建築講演会『空っぽの創造力』建築家 竹山 聖 講演会開催報告
- [5]平成29年度福岡県知事指定講習「開設者・管理建築士等のための建築士事務所の管理研修会」開催について
- [6]既存住宅状況調査技術者講習開催について
- [7]「告示第15号見直しに係る実態調査」にご協力いただける建築士事務所の推薦のお願いについて
/国土交通省
- [8]改正建築士法の周知活動について(協力依頼)/日事連
- [9]小規模非住宅の省エネルギー性能に係るアンケート調査の周知のお願い/国土交通省
- [10]メールマガジン 建築福岡Quarterly記事担当者について
- [11]法定講習(建築士定期講習、管理建築士講習)関係報告
- [12]指定事務所登録機関関係報告
- [13]年間スケジュール
- [14]支部・地域会報告

日事連及び九州・沖縄ブロック協議会関係報告

- [1]日事連臨時理事会開催報告
- [2]日事連平成29年11月通常理事会開催報告
- [3]第128回建築士事務所全国会長会議開催報告
- [4]平成29年度九州・沖縄ブロック協議会第1回会長会議開催報告

3

表彰関係



平成29年秋の叙勲受章者の報告

副会長 高巢 光男氏
(株)高巢設計事務所（大牟田支部） 会務代表者

建築設計監理業振興功勞により、
平成29年秋の叙勲を受章されましたのでご報告いたします。

4

訃報

筑豊支部会員である(有)塩川組会務代表者の塩川幸生様が平成29年12月に永眠され、
葬儀が執り行われました。
長らく協会の発展にご尽力頂きましたことを感謝申し上げます。
ご冥福を心よりお祈りいたします。



北九州支部からのお知らせ

11月定例幹事会議事録

- 日 時 平成29年11月10日(金)14～16時
 場 所 西部ガス(株) ひなた
 参 加 者 久松、高崎、山本、林、小野、金子、望月、平野、藤本

▶ 議事 1. 研修旅行について

- 日程 …… 11月23日(木)
- 場所 …… 水害地の朝倉地方とする。
- 主な研修内容 …… 被災地の朝倉地方の見学・九州芸文館の見学

県南支部にも声掛けし支部間交流を行う。久保教育研修委員長と事務局にて県南支部と連絡を取り合い、時間・行程を調整する。

当日のレポート



九州芸文館を見学しました。



被害を受けた家屋。土石流により流され跡形もありません。



2. 忘年会について

日時 12月20日（水） 竹なか(小倉北区)にて
会費 4,000円

3. 創立40周年記念事業について

11月13日に開催される県本部40周年記念事業の最終確認を行った。久松支部長のもと県本部の「くまもん」の講演調整と来賓のおみやげ、懇親会の余興の演奏者との調整について報告があった。40周年事業に対しての北九州支部の出席者が少ないので、幹事の方は他の会員を勧誘すること。

4. 役員改選について

選考委員会は各委員会から1名ずつ選任計6名、会長候補は自薦他薦どちらでもよい。12月15日迄に事務局に連絡すること。1月18日の幹事会に経過報告を事務局より行う。

5. その他

児童絵画展報告

10月21日（土）10時30分より黒崎のコムシティ7階の子供の館 子どもホールにて表彰式を開催。出席人数は208名の参加を得て盛況に終了。お手伝いをいただいた会員の皆様お疲れ様でした。ありがとうございました。



皆さん、お疲れ様でした



司会の山口会員



12月定例幹事会議事録

日 時 平成29年12月20日(水)18時～19時 幹事会、19時～21時 懇親会
場 所 小倉北区 竹なか
参 加 者 久松支部長はじめ44名の出席

▶ 議事 1. 北九州支部役員選考委員及び次期支部長候補募集について

- 事務局より推薦者の報告がされました。

2. 創立40周年記念事業について

- 11月13日(月)県本部の40周年記念事業の報告が久松支部長よりされました。

3. 報酬の基準(国土交通省告示第15号)の改正の検討にあたり実態調査

- 県本部からの依頼で実態調査に協力する旨の報告がありました。

4. 11月23日(木)県南支部との支部間交流の報告がありました。参加者20名

- このたびは県南支部の中山支部長はじめ県南の皆様にお世話になりました。特に朝倉在住で被害にあわれた森山会員、ありがとうございました。

5. その他

- ①準会員入会 YOU設計(株)一級建築士事務所 10月25日承認
香月設計一級建築士事務所 10月25日承認
- ②平成30年 北九州建築六団体合同新年賀詞交歓会出席者 30名の参加者数の中間報告がありました。

6. 忘年会、その他

- 懇親会の前に、賛助会会員の自己紹介並びにPRを行いました。





筑豊支部からのお知らせ

行事のご報告及び今後の予定

■平成29年10月6日～10月7日

全国大会に筑豊支部より2名参加いたしました。

■平成29年10月27日

行橋で幹事会を行い、9名参加されました。

■平成30年1月28日～1月29日に大分方面に研修旅行を行います。

福岡地域会からのお知らせ

福岡地域会 役員会議開催のご報告

第2回 役員会議

- 日 時…………… 平成29年10月10日(火)11:20～12:20
- 場 所…………… 建設会館 6階会議室
- 議 題……………
 1. 入退会について
 2. 上半期の活動報告
 - ・ 納涼会(8月8日)
 - ・ 福岡建築行政研究会第12回定例会(8月22日)
 - ・ 第25回福岡建築クラブゴルフコンペ(9月22日)
 - ・ 第16回賛助会主催講習会(9月21日)
 3. 下半期の活動について
 - ・ 全国大会(和歌山大会10月6日)
 - ・ 県内建築パトロール(10月18日)
 - ・ 賛助会研修ツアー(10月19日)
 - ・ 建築関連法規の改正等講習会(10月31日)
 - ・ 創立40周年記念事業(11月13日)
 4. その他
 - ・ 県本部より各種報告

福岡地域会 賛助会研修ツアーのご報告

平成29年10月19日(木)、建築士会・建築士事務所協会 賛助会合同主催による日帰り研修バスツアーを開催いたしました。今回は(株)オークマの宝珠山工場にてパネル、小型ユニットハウスの製造工程を見学。昼食後は筑前町立大刀洗平和記念館を訪れ、平和の尊さについて考える機会となりました。

今回のツアーは九州北部豪雨で多くの被害を受けた朝倉方面をまわるツアーでしたが、現地の被害の大きさを目の当たりにすると復興に向けて引き続きの支援がまだまだ必要だと改めて感じます。

参加頂いた正会員、賛助会員の皆様、ありがとうございました。



建築関連法規の改正等講習会のご報告

平成29年10月31日(火)、建築関連法規の改正等講習会を開催いたしました。用途変更の取り扱いや空家対策、消防行政の今後の動向について福岡市の御担当者から直接話を伺える良い機会に、50名を超える多くの方々にご参加いただき、大変有意義な講習会になりました。ありがとうございました。



40周年記念行事のご報告

福岡県建築士事務所協会40周年記念行事が、平成29年11月13日(月)にANAクラウンプラザホテルにて開催されました。記念講演会、高等学校生・専門学校生による建築設計競技の表彰式、記念式典が行われました。中でも講演会は平成28年熊本地震について「復興の絆」と題し、現状とこれからの復興計画について、熊本の御担当者様からお話を伺う貴重な機会になりました。同時に次の10年に向けて、自然災害が起きた際にはどのように向き合っていくのか問いかけられた気がいたします。

最後は祝賀会にてご参加頂いた皆さまよりお祝いの御言葉を賜り、大変盛況の中記念行事を終える事が出来ました。ご協力頂いた皆さまに心より御礼申し上げます。

尚、40周年記念誌を現在編集中でございます。5月の総会にて皆さまのお手元にお届け出来る予定です。今しばらくお待ち頂ければ幸いです。



県南支部からのお知らせ

宮崎視察のご報告

10月28（土）～29日（日）に、研修旅行として宮崎視察を行いました。当日は台風が宮崎方面へ接近しており開催が危ぶまれましたが、17名の参加者全員、どうにか無事に日程を終えることができました。



初日は、まず霧島酒造で焼酎の製造過程の見学と試飲、昼食には郷土料理を堪能しました。都城島津邸で明治時代に建築された剣道場や美しい日本庭園を鑑賞したのち、宿泊地の宮崎市内へ。懇親会会場へ向かおうとするも、台風の猛烈な暴風雨で道路は冠水状態。しかし、地元の方々のご協力のおかげで懇親会も無事行うことができ、思い出に残る一夜となりました。



翌日は台風一過の青空のもと、木材を多様に使用した小林市の新庁舎などを見学し帰路に着きました。

今回悪天候の中、楽しい有意義な研修旅行を担当して頂いた事業委員会の皆様、おつかれさまでした。



大牟田支部からのお知らせ

幹事会のご報告

H29年度 第7回

平成29年10月30日(月) 18:30～

場 所 事務局会議室

出席者 高巢、宗正、中野、永江、水町

■ 1. 報告事項

- ① 支部研修旅行について
・精算他
- ② 支部活動について
・県南支部報告書
- ③ その他

■ 2. 協議事項

- ①10月6日(金) ● 第41回建築士事務所全国大会(和歌山)
- ②10月10日(火) ● 第7回常任理事会
● 第10回組織改革検討委員会
● 第4回理事会
- ③10月12日(木) ● 九州・沖縄ブロック協議会(三団体)
- ④10月13日(金) ● 第2回教育・研修委員会
● 建築設計競技審査会
- ⑤10月18日(水) ● 創立40周年記念誌における「女性部会座談会」 出席者: 李
- ⑥会員退会 ● 藤木秀俊建築計画工房 藤木秀俊氏
- ⑦その他

H29年度 第8回

平成29年11月27日(月) 18:30～

場 所 事務局会議室にて

出席者 高巢、宗正、中野、永江、水町

■ 1. 報告事項

- ① 平成30年新年会について
平成30年1月(日程未定)
- ② その他

■ 2. 協議事項

- ①11月3日(金) ● 女性部会見学会「大牟田近代化産業遺産を巡る旅」 参加者25名
出席者: 高巢、李
- ②11月13日(月) ● 県内高校生・専門学校生コンペ表彰式
● 創立40周年記念講演会
● 創立40周年記念式典(功労者表彰)
● 創立40周年記念祝賀会
参加者: 高巢、中野氏、永江氏、水町氏
※ 会場は全てANAクラウンプラザホテル福岡
※ 功労者表彰者 大牟田支部: 中野氏、水町氏
※ 11/24 本部から協力のお礼の文書受領
- ③11月24日(金) ● 大牟田市建築指導課「建築省エネシンポジウム」案内
- ④その他

■ 1. 報告事項

- ① 1月7日(日) 消防出初式出席者について 出席者：永江氏
- ② 1月13日(土) 平成30年新年会について
 - ・司会者：中野氏
 - ・開会：中野氏
 - ・支部長挨拶：高巢
 - ・乾杯：荒木氏
 - ・祝宴
 - ・万歳三唱：賛助会員
 - ・閉会：中野氏
- ③ 1月19日(金) 新春の集い出席者について 出席者：高巢、中野氏、李
- ④ 年間行事（総会日程）、予算案について
- ⑤ その他
 - ・表彰者規定について（支部規定）
中野氏、水町氏（10,000円）

■ 2. 協議事項

- ① 12月5日(火) ● 消防出初式案内
平成30年1月7日(日) 9:30～ 文化会館
- ② 12月8日(金) ● 新春の集い案内(衆議院議員 藤丸敏)
平成30年1月19日(金) 17:30～
ホテルニューガイヤ オームタガーデン
- ③ 12月12日(火) ● 第9回常任理事会
● 第5回理事会
- ④ その他 ● 創立40周年記念功労者表彰規定検討

大牟田支部 研修旅行を振り返って ～

9月24,25,26日の三日間で、「阪急交通社のはじめての東北」松島・平泉中尊寺・奥入瀬溪流・角館武家屋敷等の見学旅行に行ってきました。

我々建築に携わる者として一番の興味は、中尊寺と武家屋敷でした。

日本三景の一つの松島を遊覧船で見てまいりましたが、地震の爪痕も残っており、心なしか元気がない（活気がない）ように見受けられました。復興するにはまだまだ日数を要するのでしょうか。



次に平泉の中尊寺金色堂は、藤原氏三代の栄華を偲ばせてくれました。あれほどの金を所持し、建物に使うのは秀吉同様、権力者の力の誇示だったのででしょう。“驕る平家は久しからず”とはよく言ったものです。

奥入瀬溪流は自然林に覆われ、水の流れが生む躍動感にあふれ、景観は迫力があり見事でした。残念なことに滝もバスの中からはよく見えず、紅葉も時季が早かったため青葉の状態だったのが心残りでした。

角館武家屋敷は上級武士と下級武士とを地域で区別し、上級武士と下級武士との違いを明白に、敷地の大小・家屋敷の大小・門構え（上級は豪華、下級は質素で区分け）等、身分の相違が一生ついてまわったのででしょう。今は自由で良き時代だと思いますよ。



（一社）福岡県建築士事務所協会大牟田支部 永江 邦彦



6

会員動静

新入会員のご紹介

事務所名 アトリエサンカクスケール(株)

福岡地域会に入会されました

■会務代表者：村上 明生 ■所在地：筑紫野市二日市中央

会社名 (株)電友社

福岡地域会賛助会に入会されました

■担当者：岡本 秀成 ■所在地：福岡市中央区白金
■営業種目：電気工事



<http://www.denyusya.com/>

会員情報変更

事務所名 (有)設計工房 新

福岡地域会

新所在地 福岡市南区大楠2-12-24 T グランド平生202

事務所名 大和リース(株) 北九州支店

北九州支部

新所在地 北九州市小倉北区貴船町3-2 大和ハウス北九州ビルB棟

7

役員さんの徒然雑記



監事 廣田 栄作 さん（株）広田工務店

エンドロール



あなたは映画が終わった後、エンドロールで退席しますか？

昔はほとんどの人が退席していましたが、最近はエンドロールが終わるまで残っている人が多くなったみたいです。あるアンケートでは7割の人が残るというデータもあります。ジャッキー・チェンの映画でのNG集や、実話に基づいた話での実在の人物の映像など、エンドロールで文字だけではなくちょっとしたおまけの映像が増えたせいかもしれません。

15年前「パイレーツ・オブ・カリビアン」の1作目、エンドロールの最後におまけ映像があってほとんどの人が退出していたのですが、2作目以降では最後におまけの映像があるという口コミで半分以上の人が残っていました。このころから最後まで残る人が多くなったように思います。



「おくりびと」のエンドロールを見ていて驚いたことがありました。キャスト・スタッフ・監督とあって最後の演出のところに同級生の名前があったのです。東京放送の制作映画でそこに勤めていたことは知っていたのですがプロデューサーだったとは。後日の同窓会で、アカデミー賞の外国映画賞を受賞してレッドカーペットを歩いた話やオスカー像も触らせてもらいました。

日本では映画の著作権は映画製作者にあります。アメリカでは制作にかかわった人全員がそれなりの権利を持つことになっています。そのため関係者全員を表記しクレジットしているということもあり、アメリカ映画等では昔からエンドロールが長いのです。

エンドロールを見ていると、こんなにたくさんの方が関わっているのだなあと毎回感心します。ロケ地や協力した団体などもわかり、流れる音楽もいいものが多いと思います。私は最後まで残ってエンドロールを見るのを楽しみにしています。





監事 和田 正樹 さん（株和田設計コンサルタント）

Jazz Pianoについて



今回メールマガジン建築福岡Quarterly記事の担当となりました。早田さんから義務と言われ、キャンセルも出来ず何か書くことになりました。

数年前は“海外ゴルフ研修”というテーマでハワイ・バンコクのゴルフ場等について書きましたが、今回は趣味でもある“Jazz Piano”をテーマに書きます。

まず、Jazzといっても極めて広範囲です。第2次世界大戦以前から戦後まもなく1945~50年はそれまでの戦争から開放され、陽気で明るいSwing Jazzやダンス音楽、それにModern Jazzのはしりの時代でした。ベニー・グッドマン、グレン・ミラー、トミー・ドーシーといったバンドがいます。

Jazz Pianoで言えば戦前から戦後はいわゆるSwing Jazz Pianoの始まりでPianistの名前を挙げると**デューク・エリントン（アメリカ人の音楽の大巨匠）**^①、カウント・ベイシーが出てきた時代でした。テディ・ウィルソンのようなSwing Jazzは今も続いています。



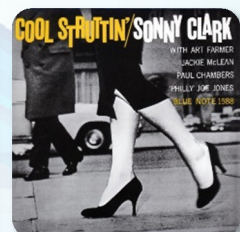
①エリントンの代表LPのジャケット

Jazz評論家ではなく、私は素人なので個人趣味の範囲で1950年以降のJazz Pianoについて書くことにします。又、Jazzに興味がない方には全く何のことやらお分かりにならないと思いますので、そういう方々には大変申し訳なく思います。

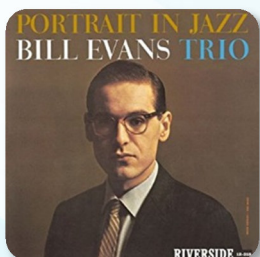
Jazz Piano（Modern Jazz）でなんと言っても大御所は**バド・パウエル**^②です。その時代はホレス・シルヴァー等バップジャズといい、バド・パウエルの弾く“クレオパトラの夢”は有名な曲です。又、**ソニー・クラーク**^③の“クールストラッティン”等も同様に有名です。



②バド・パウエルのジャケット



③このジャケットは有名なもの



④ビル・エヴァンスの代表作のポートレートのジャケット



⑤チック・コリアのジャケット

次にModern Jazzの全盛時代となりレッド・カーランド、トミー・フラナガン、ケニー・ドリュー、マル・ウォルドロン、ハンプトン・ホーズ、ウィントン・ケリー、1970年頃になるとビートルズ等のロックにModern Jazzも押された時代がありました。上に挙げたModern Jazzの主流のピアノの中でも**ビル・エヴァンス**^④は最も好きなピアニストです。彼の演奏スタイルはモード奏法^④といい、その後マッコイ・ターナー、ハービー・ハンコック、**チック・コリア**^⑤、キース・ジャレット等が出て今日に至っています。

ビル・エヴァンスのJazzはクラシックで言えばショパンみたいな存在でリリカルかつエレガントなピアノだと思っています。

車の録音に彼の音楽をたくさん入れています（但し平日の仕事の時は車に乗ってもカーステレオ等は一切聴きません。イライラすることが多いので聴くのは休日のゴルフの行き・帰りくらい）。

その他にもModern JazzのPianistは数多くいます。エロール・ガーナー（ミスティが有名）、**デューク・ジョーダン**（死刑台のエレベーターという曲）、**オスカー・ピーターソン**、**セロニアス・モンク**、ケニー・バロン、ローランド・ハナ、レイ・ブライアント、シダー・ウォルトン、バリー・ハリス^⑧、ハンク・ジョーンズ、ケニー・ドリュウ、**デイヴ・ブルーベック**（テイクファイヴ）、近年はミシェル・ペトルチアーニ（亡くなった）、ベニー・グリーン、ジョー・サンプル、ブラッド・メルドー、その他たくさん。



⑥デンマークでの録音のジャケット



⑦オスカー・ピーターソンの代表作ジャケット



⑧モンクのソロアルバムジャケット



⑨ブルーベック テイクファイブの代表作ジャケット

日本人のジャズピアニストの歴史は浅く、中村八大、**世良譲**、大野雄二、菊地雅章、最近では上原ひろみ^⑫、山中千尋、**小曽根真**などご存知の方もおられると思います。



⑩世良譲のジャケット（なかなかキザなピアノ）



⑪小曽根真のジャケット

まとめると、ジャズもクラシックも音楽を体で感じることは同じです。コード（和音の重なり）がクラシックはドミノのような定型のコードを使いジャズになると不協和音の魅力があります。バッハの時代に現代のピアノとジャズのコードがあったら音楽の歴史はどうなっていたか？想像するのも楽しいものです！



監事 今村 日出男 さん（今村一級建築士事務所）



明けましておめでとうございます

会員の皆様 平成30年新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。事務局より急な依頼がまいりました。予定では2月の城島酒まつりについてレポートを作成するように考えておりましたが、最近のできごとについて思いつくままに書いてみました。

まず、今年は1月4日 平成21年より3年毎に行っている昭和40年卒業の城島中学校同窓会が久留米のハイネスホテルで開催されましたので、出席して来ました。40人位の小さな集まりでしたが近くに住んでいてもなかなか会えない幼馴染みやマドンナ達と時間の経つのも忘れ楽しいひとときを過ごすことができました。恩師の先生も今では高齢になりましたが、85歳でとても元気に出席して頂きました。

次に昨年の12月30日、30年来の恒例行事である餅つきを近所の神社にて行いました。当初は12家族程で行っておりましたが、今では8家族で元気に餅つきと言いたいのですが、皆高齢になりましたので、若者の応援がないとつけなくなりました。朝早くから準備をし、昼過ぎ迄に神社用と各家庭の鏡餅や餡餅等を作り、楽しい昼食をして解散です。

12月中旬を過ぎた頃から、我が家では庭の手入れが始まります。まず事務所の手入れを行い、自宅へと5年位前から庭の手入れに詳しい友人から手解きを受けながら夫婦で少しずつ行うのが恒例となりました。毎年12月の土・日には夫婦言い争いながらも楽しいコミュニケーションです。

12月8、9、10日には初めて建築士会の全国大会に夫婦で参加しました。1日目は京都での全国大会に出席し、2日～3日目は県南支部の増田氏、西村氏と共に(天橋立、ちりめん街道、舟屋とカニ三昧)というエキスカーションに参加し、丹後方面の観光地を各地元の担当職員の方から説明・案内をして頂き、本当に素晴らしい旅が出来たと感謝しております。



最後は私の唯一の趣味である囲碁について、12月3日に久留米市役所のくるみホールにて開催された第27回久留米市民囲碁大会に城島校区より代表として初めて出場しました。現在では囲碁をする事は城島囲碁クラブの大会で年2回、土会囲碁大会で年1・2回する程度ですが、11月の城島囲碁クラブの大会で優勝していたので少し自信を持って参加しました。

試合は5名の団体戦で行われ、田主丸校区・西国分校区等の強豪チームと戦い3勝1敗で準優勝となりました。又、個人的にも3勝1敗で、チームの皆さんと一緒に美味しい酒を頂くことができました。



今年は、体調も良くなってまいりましたのでいろいろな楽しむ会(月見・クルーズ船・花見・アツ・酒・料理・音楽他)を企画して皆様との交流を深めたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

最後に今年も城島酒まつりが、2/17(土)・18(日)に開催されました。美味しい酒とともに少し早い春の訪れを感じられると、毎年大勢の方に楽しんで頂いております。残念ながら今年は終了してしまいましたが、興味のある方はぜひ来年お越し頂ければ幸いです。ご連絡お待ちしております。

